

令和7年度 ル・サンテリオン 事業計画書

1. 施設理念

- ・利用者の尊厳を守り、生活機能の維持・向上をめざし総合的に援助します。
- ・家族や地域の人々・関係機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう包括的ケアサービス施設として専門職チームで支援します。

2. 施設方針・テーマ『魅力あるサンテリオン～地域から選ばれる

良質なサービスの提供～』

- ①「包括的ケアサービス施設」認知症になっても安心して在宅または施設生活が過ごせるよう、専門職チームで支援します。
- ②「リハビリテーション施設」生活機能向上による暮らしやすさを目指し、体力や基本動作能力の獲得、活動参加の促進、環境の調整等を行います。
- ③「在宅復帰施設」個々の状態像に応じて、多職種からなるチームケアを行い、個々の意思を尊重した在宅復帰に努めます。
- ④「在宅生活支援施設」自立した在宅生活が継続できるよう、介護予防に努め、サービスを提供するとともに、他機関と連携して総合的に支援します。
- ⑤「地域に根ざした施設」地域づくりの一翼を担うために、家族や地域住民と交流し地域と一体となった取り組みを積極的に行います。

3. 実施事業及び定員

(1) 介護老人保健施設	従来型	定員40名
(2) 介護老人保健施設	ユニット型	定員60名
(3) 短期入所療養介護	従来型・ユニット型	空床利用型
(4) 予防短期入所療養介護	従来型・ユニット型	空床利用型
(5) 通所リハビリテーション		定員45名
(6) 介護予防通所リハビリテーション		(上記に含む)
(7) ケアハウス		定員15名
(8) 居宅介護支援事業所		
(9) 訪問リハビリテーション、介護予防訪問リハビリテーション		

4. 重点目標

抱負・目標 「更に専門性の高いチームアプローチを展開」

- HitomeQ の通知やケアループ等の機能をアセスメントツールとして利用し、個々の生活リズムの把握等の有効活用を行い、QOLの向上につなげる。
- 「LIFE」データを活用して利用者の生活の質の向上に取り組む。
- 通所リハビリテーションでは、心身機能、生活機能、活動について、多職種が協働してアセスメントを行い、抽出された課題と生活目標をチームで共有し、多職種との連携を図り在宅生活を支援する。

(1) 人財育成と職場定着

- ① 充実した職員育成環境をつくる。
- ② リーダー育成とチーム力向上を図る。
- ③ 働きやすい職場環境づくり(外部委託・介護助手の活用による生産性向上)

(2) 利用者へのサービス提供(顧客満足・質の向上)

- ① HitomeQ の通知・ケアルーペをアセスメントツールとして活用する。
- ② チームケアによる認知症対応力の向上。(BPSD への対応力)
- ③ Hug を活用して利用者の自立に向けたケアを提供する。
- ④ 通所リハビリのリハビリテーション提供の強化

(3) リスク対策(感染・安全・災害等)

- ① 感染症対応力の向上を図る。
- ② 災害発生時への対応力の強化を図る。
- ③ 事故防止に向け、利用者アセスメント力の強化により、予防への取り組みを行う。

(4) 施設・設備整備

- ① 施設保全と老朽設備の修繕及び不具合に対する迅速な対応(施設を大切に、美化活動)
- ② リハビリ機器・介護機器の台数管理と計画的更新
- ③ 公用車整備と計画的更新を行う。

(5) 地域連携・社会貢献

- ① サンフラワーカフェを中心に介護予防活動・ボランティア活動を行う。
- ② 外部関連機関との連携を図り、施設サービスの機能を地域へ発信する。
- ③ 「はあとプログラム(マグ、ソラ、サンテの協同地域社会活動)(仮称)」の実施。

(6) 経営管理

- ① 予算・事業計画に基づく収支予算の分析を行い、稼働の安定を図る。
 - ◇ 老健入所：96.5 人/日(内ショート：1.7)
 - [ユニット棟] 58.0/日(内ショート：1.4)
 - [認知症専門棟] 38.5/日(内ショート：0.3)
 - ◇ 通所リハビリ：32.0/日(内介護 24.0、予防 8.0)
 - ◇ ケアハウス：15 人/日
 - ◇ 居宅介護支援：76.6 人/月(内介護 70.0、予防 20.0)
 - ◇ 訪問リハビリ：0.5 人/日
- ② コスト削減の実施(電気使用量前年比 3%削減、ポリファーマシー対策の推進)

5. 新規事業

マグ、ソラ、サンテの協同地域社会活動「はあとプログラム(仮称)」の実施。

6. その他 なし